

これが稲 WCS 茎葉型専用品種ですよ！！

～稲 WCS の現地検討会を開催しました～

安房農業事務所改良普及課 令和6年7月11日発

安房地域では稲WCS茎葉型専用品種の普及が進んでおらず地域内では飼料用米と稲WCSの兼用品種である「夢あおば」が比較的多く生産されています。しかし、夢あおばは牛が消化しづらい籾が多いため、刈り遅れにより消化性の悪化が問題となっています。

そこで農業事務所では、耕種農家、畜産農家双方に参加を呼びかけ、茎葉型専用品種の生産・利用に早くから取り組んでいる経営体のほ場及び農業事務所を会場に現地検討会を開催しました。当日は関係機関含め32名の参加があり、茎葉型専用品種「たちあやか」の栽培、サイレージ品質について理解を深めました。

安房農業事務所では耕畜連携等の取組みについて、双方の農家がより良い形で連携できるよう、情報提供や助言、連携について検討する場の設定支援を行っていきます。



皆で「たちあやか」の生育をチェック！



研修会で品質に関する理解を深めました